

令和2年3月吉日

各位

特定非営利活動法人
長崎県レクリエーション協会
会長 前原晃昭
(公印省略)

広報誌「レクながさき58号」の送付について

時節柄、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から長崎県レクリエーション協会の活動につきまして格別のお引き立てをいただき、ありがとうございます。御礼申し上げます。

さて、本協会の広報紙「レクながさき58号」が完成いたしました。

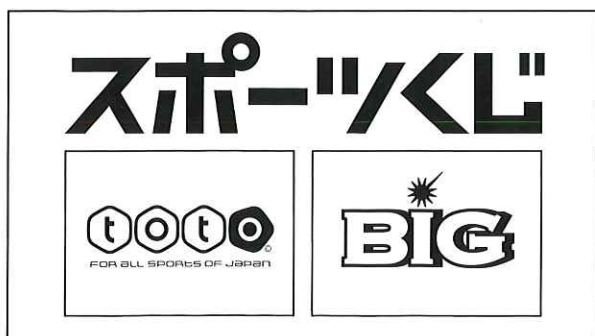
つきましては、職務ご多忙の折、大変恐縮に存じますが、ご高覧いただきますよう宜しくお願いいたします。

記

○送付物

1. 広報紙「レクながさき58号」

1部



NPO 法人長崎県レクリエーション協会
〒852-8104 長崎市茂里町3-24
県総合福祉センター(社協棟)4階
電話 095-842-0100 FAX 095-842-0101
E-mail rec-naga@ngs2.cncm.ne.jp

長崎県レクリエーション協会情報誌

レクながさき

Let's Enjoy



発行所：NPO法人長崎県レクリエーション協会 事務局：長崎県レクリエーション協会広報部

〒852-8104 長崎県長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター（社協棟）4階
Tel: 095-842-0100 Fax: 095-842-0101 業務時間：月曜日～金曜日 10時～16時
Email: rec-naga@ngs2.cncm.ne.jp URL: http://www.rec-nagasaki.org/

楽しむを体験しました



2月2日（日）に佐世保市相浦地区公民館を会場に、「令和元年度レクリエーション研修会」を開催しました。これまで、県内の宿泊研修施設を巡回し1泊2日で開催していたものを1日開催としての第1回目となります。

講師は、UEKIレク協会会長として、地域のサロン支援をはじめ、熊本の災害復興支援、総合スポーツクラブ等、様々な現場での指導経験をお持ちの上野祥子氏をお招きしての研修会でした。トランプを使ってのアクティビティをはじめ、ゆっくりと丁寧な指導に参加者も引き込まれました。高齢の方へのレク支援を楽しくやる工夫を解説していただきながらあっという間に午前が終わりました。

午後からは、音楽を使いながら参加者が合奏をしていくプロセスの体験をしました。また、新聞紙やバルーンを使ってのアクティビティを楽しみました。

「デイサービスやサロン活動などでやっている活動もどうせやるなら楽しくやるといいよねと工夫しました。」との言葉が印象的でした。

（広報部）



受講者の感想



すべてに満足しました。高齢者・障がい者・子どもたちへの一緒に楽しむことを教えていただいた。

どれも楽しかった。音楽に合わせて新聞紙を破いたり、まるめて遊んだりどなたにも楽しんでいただけそうです。



レクの中にただ楽しんでいだけだけではなく、スポーツや体の動きにつながることをしっかり伝えてみんなが楽しむ工夫をされていることが素晴らしかった。

グループレクリエーション・サポーター養成講習会を開催

11月28日(木)諫早市諫早図書館視聴覚ホールにて、「(グループ)レクリエーション・サポーター養成講習会」が開催され17名の方が受講されました。

今回は、ながさきファミリープログラムファシリテーターの会が主催された「ファシリテータースキルアップ研修」の一環で実施されたものです。この、「ながさきファミリープログラム」というのは、「子育ての不安や悩みを参加者同士が話し合いながら楽しく学ぶ講座」と長崎県のホームページには紹介されています。プログラムは、進行役(ファシリテーター)が進めていきます。ワークショップ形式で進めるので、プログラムの導入となるアイスブレイクが重要となります。

そこで、スキルアップ研修のねらいとレクリエーション・サポーター研修のねらいがマッチしての開催となりました。講師は、公益財団法人日本レクリエーション協会がレクリエーション・サポーター養成講習会の講師として認めている本会専務理事の平山仁が担当しました。アイスブレイキングとホスピタリティを中心とした内容で、講習会を進めました。特に、ながさきファミリープログラムで使うという前提での実技を楽しく体験していただきました。同様の講習会は、2月15日にも開催しました。

なかなか講習会に参加できない方々にレクリエーションのエッセンスを伝えていくこの講習会を来年度も、県内で開催していく予定です。



※5月20日(水)壱岐市において、介護レクリエーション・サポーター講習会を実施予定

スポレク会議

参加者を増やす方策を協議

12月7日(土)諫早市小野ふれあい会館多目的ホールにて、長崎県民スポーツ・レクリエーション祭の種目団体代表者会議が開催されました。従来この会議では、スポレク祭の反省の共有が主たる目的でした。

今年の会議は、それをやめて、「参加者を増やすにはどうしたらよいかについて考える」ことを主に考える会議としました。始めに、昨年比で大きく参加者を増やした長崎県綱引連盟や長崎県パークゴルフ協会、長崎県クッブ協会等から、参加者増につながったであろう具体的な方法を発表してもらいました。

次に、これを受けて、座っている周辺の4種目程度の代表者で協議をしていただきました。「自分の種目の現状と大会の様子」「発表されたいくつかの方法が採用できないか」などが話されました。

この成果を持ち帰り、各種目団体で検討することでまとめとなりました。天候や会場、他のイベントとの関係など簡単には増やすことは難しい事ですが広く県民の参加増やしていこうと誓い合った会議でした。



長崎県レクリエーション協会事務局動静・予定

◎日本レクリエーション協会加盟団体代表者会議に参加

12月5～6日公益財団法人日本レクリエーション協会に加盟している各県協会、種目団体の代表が、日本レク協会の今後の事業等について説明を受ける会です。詳細は、Recrewに掲載されます。

◎日本スポーツ振興センターの補助金報告と申請

令和元年度の日本スポーツ振興センターのスポーツくじ助成の報告をまとめて、提出しました。また、令和2年度と同補助金の申請も行っています。スポレク祭の開催と本会広報誌の発行は、同補助金を利用させてもらっています。

◎佐世保市レクリエーション協会役員との連絡会実施

2月2日(日)佐世保市相浦地区公民館にて、佐世保市レクリエーション協会の役員と事務局との連絡会を持ちました。内容は、本県レク協会・佐世保市レク協会の現状を互いに出し合って理解を深めるというものでした。3月2日には大村市レク協会の皆さんとまた、長崎市、雲仙市、諫早市の協会の役員や会員の皆様とも会を持つ予定です。

◎長崎県体育協会生涯スポーツ委員会参加

2月18日(火)公益財団法人長崎県体育協会第3回生涯スポーツ委員会に参加しました。主たる内容は、ながさき県民総スポーツ祭でした。

◎九州・沖縄ブロックレクリエーション連絡会の開催

2月22日(土)長崎市で、標記の会議が開催されました。この会議は、各県持ち回りで開催されているものです。当面する諸問題についての情報共有等が実施されました。成果は、59号で報告します。



◎広報誌59号の発行予定

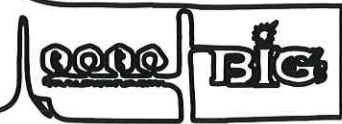
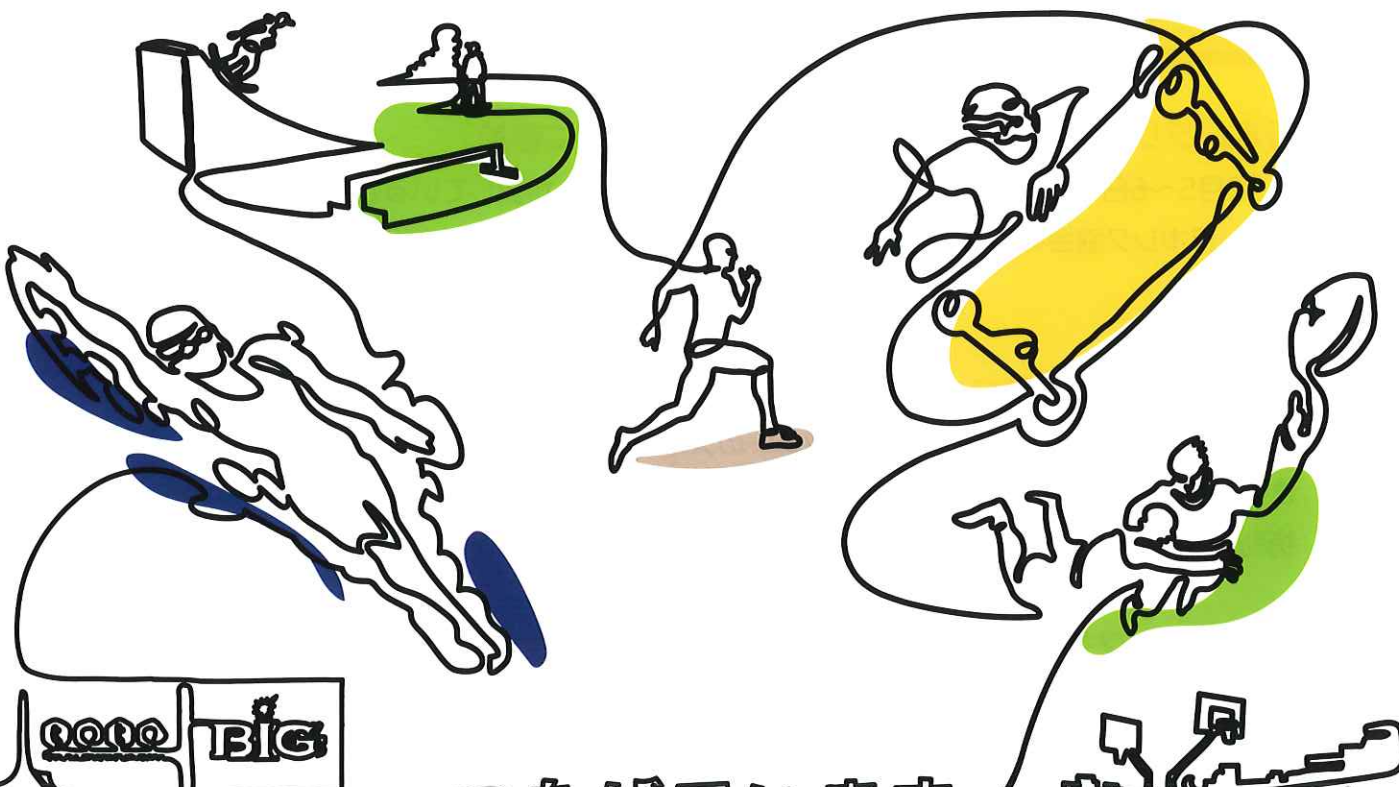
本会広報誌「レクながさき」の59号は、2020年6月発行予定です。皆様からの身近な情報提供をお待ちしています。

長崎県レクリエーション協会より おねがい

◎転居された公認指導者の皆さんへ

大切なお知らせ、研修会の案内などが届かなくなります。更新ができず資格失効にもつながります。長崎県レクリエーション協会事務局に必ず連絡願います。毎年、10件以上の宛名不明のお便りが戻ってきます。

日本レクリエーション協会のアプリ「レクぼ」からも住所の変更ができます。



つなげていきます スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

